



動物介在活動 —施設での動物飼育の実態—

○
 ○○第1班○○7組○○鈴木○A子○○田中○B美
 ○○8組○○中村○CD子○○山田○P子

○
 ○
 I ○動機及び目的

○○私たちは、訪問介護実習を通して、ひとり暮らしの高齢者が動物とのふれあいを通して寂しさや

留意事項

- ①用紙サイズ A4
- ②1P41行、1行40字、余白（マージン）設定は自由
- ③字体はMS明朝、フォント10.5（但しテーマは16）
- ④○は、一文字分の空白
- ⑤Ⅲの結果とⅣの考察は、同じ項目として「Ⅲ 結果及び考察」としてもよい
- ⑥各章（柱立て）の文章最終行と次の章見だしの行間は、1行空けること
- ⑦氏名は、7組からクラスごとに五十音順で記す

II ○方○○○法

○ 1.

○ 2.

III ○結○○○果

IV ○考○○○察（結果及び考察）

V ○ま○と○め

○○本研究は、……………を試みたところ、以下のことが明らかになった。

- 1.
- 2.
- 3.

以上より、……………が示唆された。

引用・参考文献

- 1) 一番ヶ瀬○康子○「介護福祉論」○中央法規○1995
- 2) 三浦○文夫○「社会福祉言論」○ミネルヴァ書房○1997
- 3) 仲村○優一○「福祉専門職の課題」○『月刊福祉』第10巻第1号○全国社会福祉協議会○1998
- 4) 竹内 孝仁○「リハビリ相談室」○<http://www.toyama-c.ac.jp/reha/consul.htm>

謝○○○辞

感想